

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-52182

(P2015-52182A)

(43) 公開日 平成27年3月19日(2015.3.19)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
A 4 1 C 3/00 (2006.01) A 4 1 C 3/00 Z 3 B 1 3 1

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2013-185514 (P2013-185514)	(71) 出願人	390016850 株式会社カドリールニシダ 京都府京都市下京区富小路通五条上る本神明町407番地
(22) 出願日	平成25年9月6日(2013.9.6)	(74) 代理人	100082072 弁理士 清原 義博
(11) 特許番号	特許第5596839号 (P5596839)	(72) 発明者	浦谷 真智子 京都府京都市下京区富小路通五条上る本神明町407番地 株式会社カドリールニシダ内
(45) 特許公報発行日	平成26年9月24日(2014.9.24)	Fターム(参考)	3B131 AA11 AB01 BA02 BA07 BA21 BA34 BA36 BB04 BB11 BB14 BB20

特許法第30条第2項適用申請有り 平成25年3月13日ベルメゾンネット (http://www.bellemaison.jp/ep/srvlt/EPFB00/EPFB0005/dProdDtIShow?BELN_SHOP_KBN=100&SHNCRTTKKRO_KBN=33&KAT_BTGO=989319_135_2013_B) と称する通販ウェブサイトに掲載し販売。

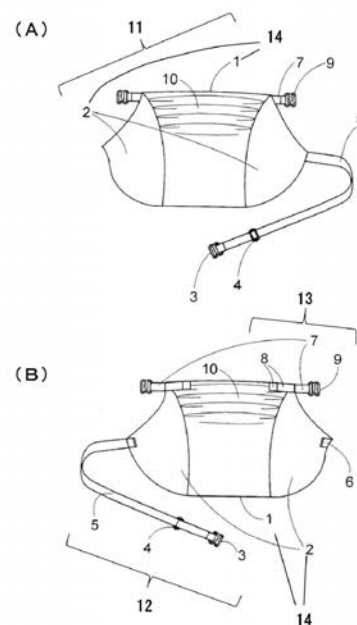
(54) 【発明の名称】 胸当てカバー

(57) 【要約】

【課題】 女性用下着のカップ部への密着性が高く、上半身の動きに追従して胸元を確実に隠すことが出来る胸当てカバーを提供すること。

【解決手段】 胸当て部とストラップ部と肩紐係止部からなる胸当てカバーであって、前記胸当て部は伸縮性の生地から成る前当て布を備え、前記ストラップ部は前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備え、前記肩紐係止部は前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐係止穴と前記肩紐係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備えることを特徴とする胸当てカバーとする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

胸当て部とストラップ部と肩紐係止部からなる胸当てカバーであって、

前記胸当て部は伸縮性の生地から成る前当て布を備え、

前記ストラップ部は前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備え、

前記肩紐係止部は前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐係止穴と前記肩紐係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備えることを特徴とする胸当てカバー。

10

【請求項 2】

前記前当て布の少なくとも一部に平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することを特徴とする請求項 1 に記載の胸当てカバー。

【請求項 3】

前記前当て布の形状が略六角形状であり、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着されたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の胸当てカバー。

20

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、胸元が大きく開いた被服を着用する際に、ブラジャー等の女性用下着の肩紐に係止することで胸元を隠すことができる胸当てカバーに関する。

【背景技術】**【0002】**

図 8 に示す如く、女性がジャケット等の胸元が大きく開いた被服（O）を着用するとブラジャー等の下着（U）が見えてしまう。このような場合、胸元を隠すために下着とジャケットの間にキャミソールやタンクトップ等のインナーウェアを着用することが多い。しかし、重ね着をすると窮屈で動きが制限され、特に気温が高い時は発汗等により不快感がある。

30

【0003】

そこで、インナーウェアを着用しなくても胸元を隠すことができる簡易な胸当てカバーが求められている。

例えば、特許文献 1 では胸元を隠すことができる係止具付き前当布が提案されている。しかし、特許文献 1 の係止具付き前当布は肩紐のない下着に装着することが可能だが、女性用下着のカップ部への密着性が低く、屈んだ時等に胸元や女性用下着が見えてしまう可能性があった。また、肩紐のある下着に係止する際、係止具を肩紐に引っ掛けて係止するため、肩紐の幅が太すぎると係止することができず、肩紐の幅が細すぎると係止しても外れやすいという問題点を有する。

40

【0004】

また、特許文献 2 では、装飾胸元隠しパーツが提案されている。このパーツは係止帯で肩紐に係止するため、様々な幅の肩紐に対応することが可能であるが、特許文献 1 と同様に、女性用下着のカップ部への密着性が低く、屈んだ時等に胸元や女性用下着が見えてしまう可能性があるという問題点を有する。

【0005】

このように、従来の簡易な胸当てカバーでは、女性用下着のカップ部への密着性が低く、屈んだ時等に胸元や女性用下着が見えてしまう可能性があるという問題点があった。

【先行技術文献】

50

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2008-156783号公報

【特許文献2】特開2013-57156号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は、上記した従来技術の問題点を解決すべくなされたものであって、ブラジャー等の女性用下着への密着性が高く、上半身の動きに追従して胸元や女性用下着を確実に隠すことが出来る胸当てカバーを提供するものである。

10

【課題を解決するための手段】

【0008】

請求項1に係る発明は、胸当て部とストラップ部と肩紐係止部からなる胸当てカバーであって、前記胸当て部は伸縮性の生地から成る前当て布を備え、前記ストラップ部は前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備え、

前記肩紐係止部は前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐係止穴と前記肩紐係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備えることを特徴とする胸当てカバーに関する。

20

【0009】

請求項2に係る発明は、前記前当て布の少なくとも一部に平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することを特徴とする請求項1に記載の胸当てカバーに関する。

【0010】

請求項3に係る発明は、前記前当て布の形状が略六角形状であり、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着されたことを特徴とする請求項1または2に記載の胸当てカバーに関する。

30

【発明の効果】

【0011】

請求項1に係る発明によれば、胸当てカバーは胸当て部を有することで、ブラジャー等の女性用下着を隠すことができる。また、ストラップ部を有することで胸当てカバーを体に被装させることができる。さらに、肩紐係止部を有することで胸当てカバーをブラジャー等の女性用下着の肩紐に係止させることができる。

前記胸当て部は前当て布から構成され、伸縮性の生地から成ることで、ブラジャーのカップ部の立体的な形状に対応して密着することができる。

前記ストラップ部は、左右いずれか一方の前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと、該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と、該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと、該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とから構成される。

40

この構成により、ストラップ用係止具をストラップ用係止穴に係止し、左右の前当て布の脇側端部を背中を介してつなぐことでブラジャー等の女性用下着への胸当て部の密着性を向上させることができる。また、アジャスターでストラップの長さを調節することにより、胸当て部の女性用下着への密着性を調節することができ、着用者の体形や好みに合わせることにもできる。

前記肩紐係止部は、前記前当て布の左右の上縁端部に前記肩紐係止部が一対設けられ、

50

それぞれの前記肩紐係止部が縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐係止穴と前記肩紐係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とから構成される。

この構成により、前記肩紐に外側から前記係止紐を巻き付け、肩紐用係止具を複数の肩紐用係止穴のいずれかに係止することができ、これにより伸縮性生地から成る前当て布を伸張させた状態で胸当てカバーを装着することができ、胸当てカバーの密着性を向上することができる。

【 0 0 1 2 】

請求項 2 に係る発明によれば、前記前当て布の少なくとも一部に平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することで、女性用下着のカップ部の立体的な形状により良く対応して胸当てカバーを密着させることができる。

10

【 0 0 1 3 】

請求項 3 に係る発明によれば、前記前当て布の形状が略六角形状であり、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着されたことで、一本のストラップで胸当てカバーの上縁部と下縁部を同時に背中側へ引っ張ることができ、背中を生地等で覆うことなくブラジャー等の女性用下着との密着性を高めることができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 4 】

【 図 1 】 本発明に係る胸当てカバーの (A) 正面図及び (B) 背面図である。

20

【 図 2 】 本発明に係る胸当てカバーの肩紐係止部の拡大図である。

【 図 3 】 本発明に係る胸当てカバーを女性用下着に係止した際の正面図である。

【 図 4 】 本発明に係る胸当てカバーを女性用下着に係止した際の斜視図である。

【 図 5 】 本発明に係る胸当てカバーを女性用下着に係止した際の背面図である。

【 図 6 】 本発明に係る胸当てカバーを (A) 細い肩紐に係止した時及び (B) 太い肩紐に係止した時の、係止する工程を示す図である。

【 図 7 】 本発明に係る胸当てカバーを (A) 女性用下着のカップ部から遠い位置で係止した時及び (B) 女性用下着のカップ部に近い位置で係止した時の外観を示す図である。

【 図 8 】 本発明に係る胸当てカバーを着用しない状態で胸元が大きく開いた被服を着用した時の様子を示す図である。

30

【 図 9 】 本発明に係る胸当てカバーのデザイン例とそのパターン図を示す図である。左がデザイン例であり、右がパターン図である。点線は縫着部を表す。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 5 】

1 . 胸当てカバー

以下、本発明に係る胸当てカバーについて詳細に説明する。

【 0 0 1 6 】

本発明の目的は、ブラジャー等の女性用下着のカップ部への密着性が高く、上半身の動きに追従して胸元を確実に隠すことが出来る胸当てカバーを提供することにある。

【 0 0 1 7 】

40

図 1 に示す胸当てカバーは、胸当て部 (1 1) とストラップ部 (1 2) と肩紐係止部 (1 3) から成り、胸当て部 (1 1) は前当て布 (1 4) から成る。図示例においては、前当て布 (1 4) は女性用下着のカップ部を覆う中央布 (1) と、中央布 (1) に隣接して脇側に配された左右一対の脇布 (2) とから構成されているが、中央布 (1) のみで、つまり 1 枚布で構成されていてもよい。

以下、前当て布 (1 4) が中央布 (1) 及び脇布 (2) とから構成される実施形態について説明する。

脇布 (2) の形状は、中央布 (1) との縫着部を底辺とする略三角形形状であることが好ましく、図 1 に図示の如く 3 つの辺が丸みを帯びていても良く、より直線的であっても良い。

50

中央布（１）及び脇布（２）は共に伸縮性生地からなる。伸縮性生地は特に限定されないが、スムース、天竺、ツーウェイ等のニット生地が好ましい。また、中央布（１）と脇布（２）の生地は同じであっても、異なるものであっても良い。

さらに、中央布（１）と脇布（２）との縫着部の少なくとも一部にギャザー（１０）やピントック等の平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することが好ましく、これによりブラジャーのカップ部の立体的な形状により良く対応して、胸当てカバーの密着性を向上させることができる。

また、前当て布（１４）にはレース等様々な装飾が施されていても良い。

【００１８】

ストラップ部（１２）は左右いずれか一方の脇布（２）の脇側端部に一端が取り付けられたストラップ（５）と、ストラップ（５）の他端に取り付けられたストラップ用係止具（３）と、ストラップ（５）の該一端とストラップ用係止具（３）との間に設けられたストラップ（５）の長さを調節するためのアジャスター（４）と、ストラップ用係止具（３）を係止するためにもう一方の脇布（２）の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴（６）とから構成される。

図１に示す胸当てカバーのストラップ（５）は、向かって右の略三角形の脇布（２）の頂点に一端が取り付けられ、他端にゼット環状のストラップ用係止具（３）が取り付けられる。ストラップの一端が取り付けられる脇布（２）は左右のいずれか一方であれば良い。

また、ストラップ用係止具（３）は、ストラップ用係止穴（６）に係止可能な部材であれば特に限定されない。アジャスター（４）に使用する部材として、図１に示すようなエイト環が挙げられる。

図１に示すストラップ用係止穴（６）は、向かって左の略三角形の脇布（２）の頂点に取り付けられた輪状部材である。このストラップ用係止穴（６）にゼット環状のストラップ用係止具（３）を引っ掛けて係止することで、左右の脇布（２）はストラップ（５）により、着用時に着用者の背中で連結される。

ストラップ用係止穴（６）は、ストラップ用係止具（３）を係止できるものであれば良く、特に限定されない。

本発明に係る胸当てカバーは、左右の脇布（２）が着用時に着用者の背中で連結されるよう長さを調節できるストラップ（５）を備えることで、中央布（１）及び脇布（２）の女性用下着のカップ部への密着性を調節することができ、着用者の体形に合わせることもできる。

【００１９】

図２に示す如く、肩紐係止部（１３）は中央布（１）の左右の上縁端部に一対設けられ、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐係止穴（８）と肩紐係止穴（８）から脇側に延びる係止紐（７）と係止紐（７）の先端に設けられた肩紐用係止具（９）とから構成される。

肩紐係止部（１３）は、中央布（１）の上縁端部に縫着されている。２つの肩紐係止穴（８）は、中央布（１）と、中央布（１）の肌側面に３か所で縦方向に縫着された係止紐（７）との間を指す。

肩紐係止具（９）は、脇側に伸びる係止紐（７）の先端に取り付けられたゼット環である。胸当てカバーを取り付けるカップ部を有する女性用下着の肩紐に係止紐（７）を外側から巻きつけ、複数の肩紐用係止穴（８）のいずれかに肩紐用係止具（９）を引っ掛けて係止することで、肩紐に本発明に係る胸当てカバーに係止することができる（図６参照）。

肩紐用係止穴（８）の数は図２に図示の如く２つであっても良く、３つ以上であっても良い。また、肩紐係止穴（８）は図２に図示の如く中央布（１）と係止紐（７）の間であっても良く、輪状部材を中央布に取り付けても良い。肩紐用係止具（９）は、肩紐用係止穴（８）に係止可能な部材であれば、形状や素材等は特に限定されない。

本発明に係る胸当てカバーは、係止紐（７）、肩紐用係止穴（８）、肩紐用係止具（９）

10

20

30

40

50

）を備えることで女性用下着の肩紐に係止され、肩紐用係止穴（８）が複数あることで、肩紐の太さに合わせてしっかり係止することができる。このことにより、本発明に係る胸当てカバーは様々な肩紐の太さを持つ女性用下着に係止することが可能となる。

また、中央布（１）の横幅は左右の肩紐間の距離よりも短いことが好ましい。中央布（１）の横幅が左右の肩紐間の距離よりも短ければ、肩紐に胸当てカバーに係止する際、伸縮性生地からなる中央布（１）は伸張した状態になるため、中央布（１）と女性用下着のカップ部との間に隙間が生じることなく胸当てカバーのカップ部への密着性が向上する。

【００２０】

図３乃至５はそれぞれ本発明に係る胸当てカバーを女性用下着に係止した際の正面図、斜視図、背面図である。中央布（１）及び脇布（２）の縦幅は、女性用下着のカップ部全体を覆うことが出来れば良く、特に限定されない。また、図４に図示の如くストラップ（５）は女性用下着の脇布よりも高い位置にあっても良く、脇布上あるいは脇布より低い位置にあっても良い。

また、脇布（２）の形状が中央布（１）との縫着部を底辺とする略三角形で、その頂点に前記ストラップの一端が縫着されているのが好ましい。前当て布（１４）が中央布（１）のみ、つまり１枚布で構成される場合には、前当て布（１４）の形状が略六角形状であり、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々肩紐係止部（１３）の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの頂点の一つにストラップ（５）の一端が縫着されているのが好ましい。このことにより、一本のストラップ（５）で中央布（１）の上縁部と下縁部を同時に背中側へ引っ張ることができ、女性用下着のカップ部との密着性を高めることができる。また、背中を生地等で覆うことなく胸元を隠すことができるため、キャミソールやタンクトップ等のインナーウェアを着用した時のように動きが制限されず、気温が高い時に発汗等による不快感が生じることもない。

【００２１】

図９は本発明に係る胸当てカバーのデザイン例を示す図である。右側の図は全て胸当てカバーの縫着前の状態を示すパターン図であり、左側の図は全て右側のパターン図を基に作製した前当て布（１４）の完成図である。点線は縫着部を表している。本発明に係る胸当てカバーは、図１及び図９（ａ）のような前当て布（１４）が中央布（１）と脇布（２）に分かれているものであってもよく、図９の（ｂ）のような前当て布（１４）が上側と下側の２枚の布を縫着して形成されているものであっても良く、または図９の（ｃ）乃至（ｇ）のように前当て布（１４）が一枚の布から形成されても良い。図９の完成図が示すように布を縫着することで、前当て布（１４）は立体的になり、女性下着のカップ部との密着性を高めることができる。

【００２２】

図９（ａ）－（ｇ）に示すように、本発明の胸当てカバーは、前当て布（１４）が共通して略六角形の形状を有しており、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に肩紐係止部（１３）の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの頂点の一つにストラップ（５）の一端が縫着されていることを特徴とする。

【００２３】

２．胸当てカバーを女性用下着の肩紐に係止する方法

次に、胸当てカバーを女性用下着の肩紐に係止する方法について説明する。

図６は、本発明に係る胸当てカバーを（Ａ）細い肩紐に係止した時及び（Ｂ）太い肩紐に係止した時の、係止する工程を示す。まず、細い肩紐に係止する場合、中央布（１）を伸張させた状態で肩紐に係止紐（７）を外側から巻きつけ、複数の肩紐用係止穴（８）のうち肩紐の太さに合った肩紐用係止穴（８）に肩紐用係止具（９）に係止する。

複数の肩紐用係止穴（８）のうち脇布（２）から最も近い肩紐用係止穴（８）に係止すれば、係止した後中央布（１）が伸張した状態から元の状態に戻るため、この時に肩紐用係止具（９）が肩紐用係止穴（８）内で脇布（２）側へ横にスライドする。これにより、肩紐に巻き付く係止紐（７）の長さが短くなるため、胸当てカバーを肩紐にしっかり係止することができる。

10

20

30

40

50

中央布（１）は伸縮性生地からなり、中央布（１）の横幅は左右の肩紐間の距離よりも短いことが好ましい。このことにより、胸当てカバーを肩紐にしっかり係止することができ、胸当てカバーの女性用下着のカップ部への密着性が向上する。

【００２４】

太い肩紐に係止する場合、図６（Ｂ）で図示の如く肩紐に係止紐（７）を外側から巻きつけ、複数の肩紐用係止穴（８）の内、肩紐の太さに合った肩紐用係止穴（８）に肩紐用係止具（９）に係止する。

複数の肩紐用係止穴（８）のうち脇布（２）から最も遠い肩紐用係止穴（８）に係止すれば、肩紐に巻き付く係止紐（７）の長さが最も長くなり、太い肩紐にも胸当てカバーに係止することができる。

10

【００２５】

図７は、本発明に係る胸当てカバーを（Ａ）女性用下着のカップ部から遠い位置で係止した時及び（Ｂ）女性用下着のカップ部に近い位置で係止した時の外観を示す。上記で説明したように、複数の肩紐用係止穴（８）の内、肩紐の太さに合った肩紐用係止穴（８）に肩紐用係止具（９）に係止することで肩紐に巻き付く係止紐（７）の長さを調節できるため、本発明に係る胸当てカバーは、下にずり落ちることなく肩紐に係止する位置を変えることが可能である。

このことにより、例えば胸元を完全に隠したい等の場合は図７（Ａ）に図示の如く胸当てカバーを女性用下着のカップ部から遠い位置で係止すれば、胸元を覆い隠すことができる。これとは反対に、胸当てカバーを目立たないように着用したい等の場合は図７（Ｂ）に図示の如く胸当てカバーを女性用下着のカップ部に近い位置で係止すれば、外から見てあまり目立つことなく胸元を隠すことができる。

20

このように、本発明に係る胸当てカバーは肩紐に巻き付く係止紐（７）の長さを調節できるため、下にずり落ちることなく肩紐に係止する位置を変えることができ、着用する衣服や着用者の好みに合わせて胸当てカバーの上縁部の位置を変えることができる。

【産業上の利用可能性】

【００２６】

本発明に係る胸当てカバーは、インナーウェアを着用しなくても胸元を隠すことができる簡易な胸当てカバーとして好適に利用される。

30

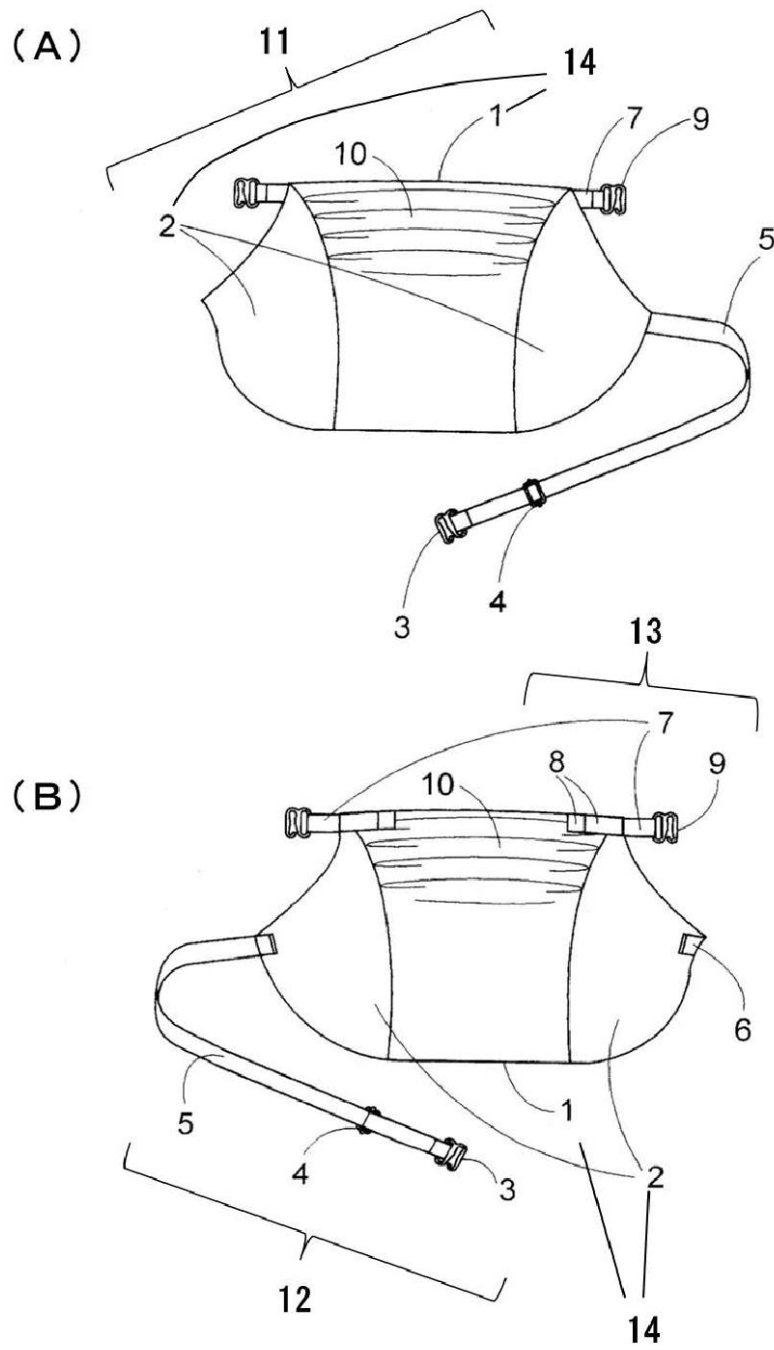
【符号の説明】

【００２７】

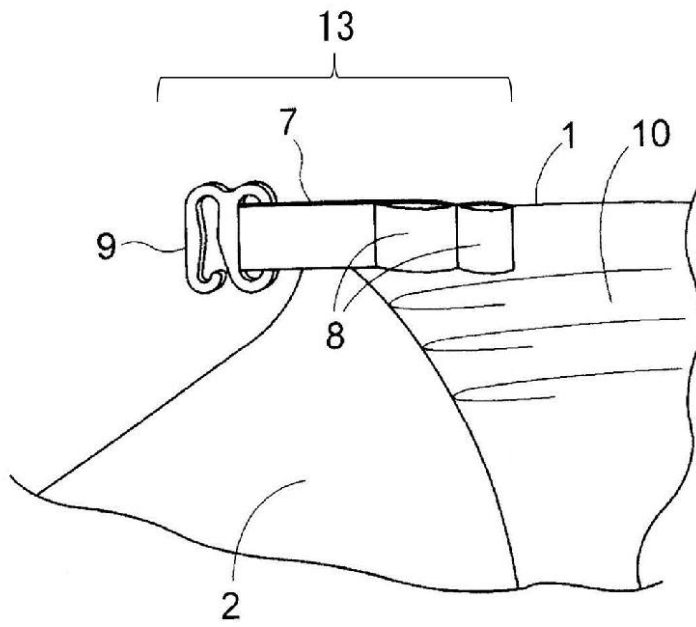
- １ 中央布
- ２ 脇布
- ３ ストラップ用係止具
- ４ アジャスター
- ５ ストラップ
- ６ ストラップ用係止穴
- ７ 係止紐
- ８ 肩紐用係止穴
- ９ 肩紐用係止具
- １０ ギャザー
- １１ 胸当て部
- １２ ストラップ部
- １３ 肩紐係止部
- １４ 前当て布

40

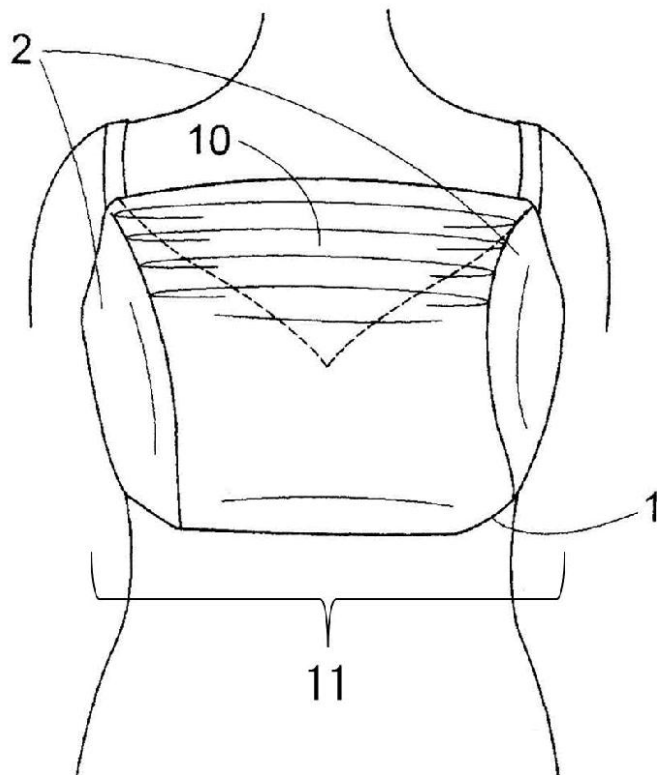
【図 1】



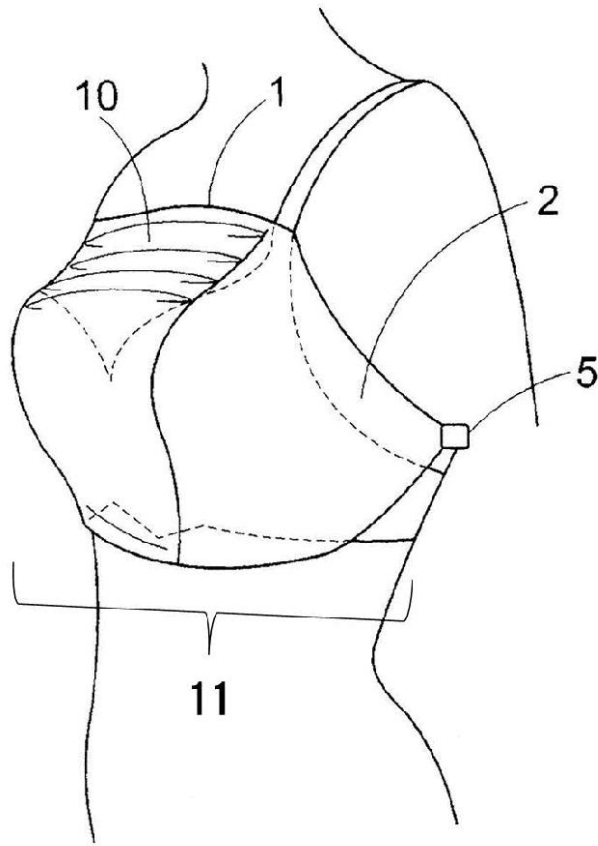
【図2】



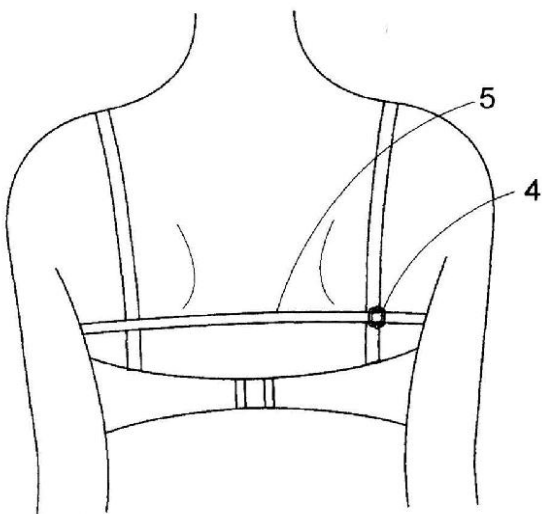
【図3】



【図 4】

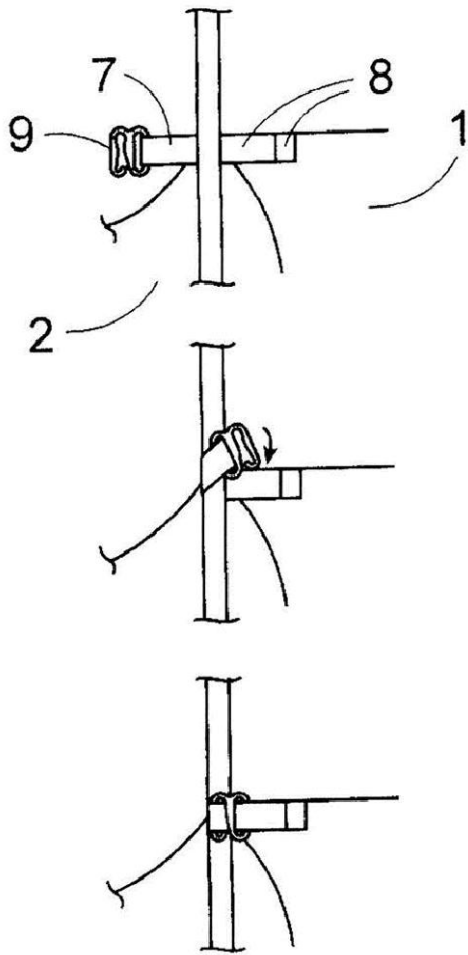


【図 5】

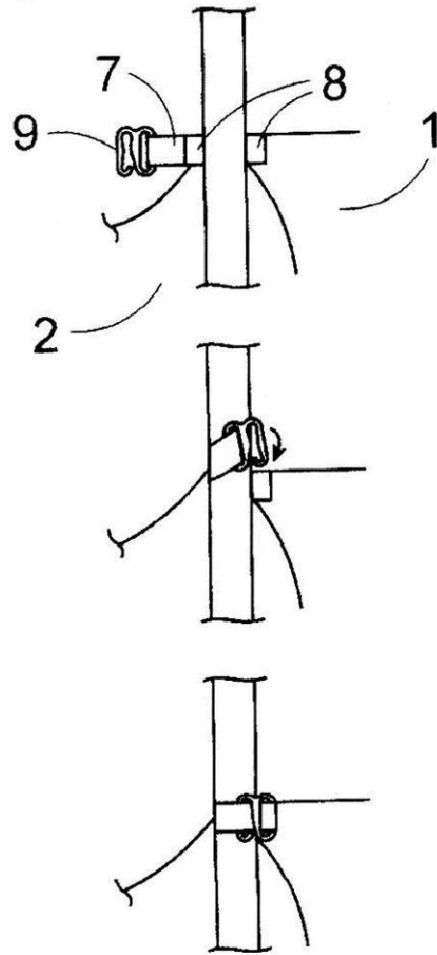


【図 6】

(A)

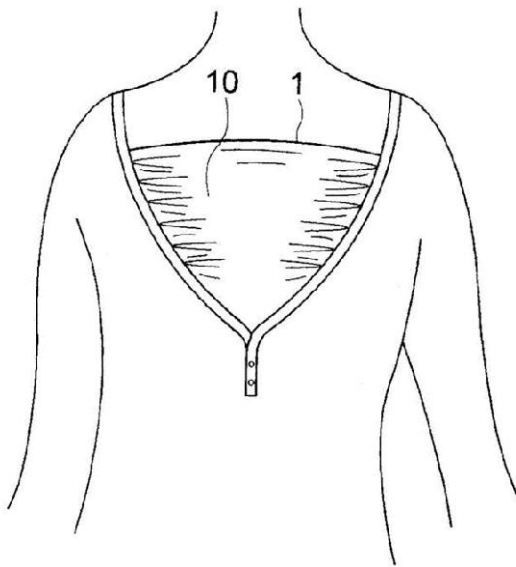


(B)

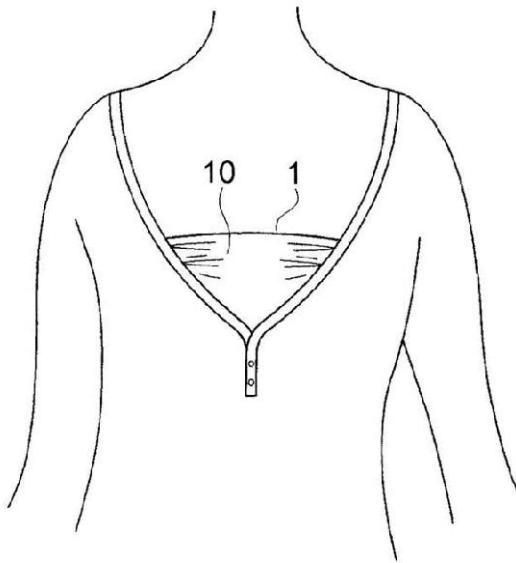


【図 7】

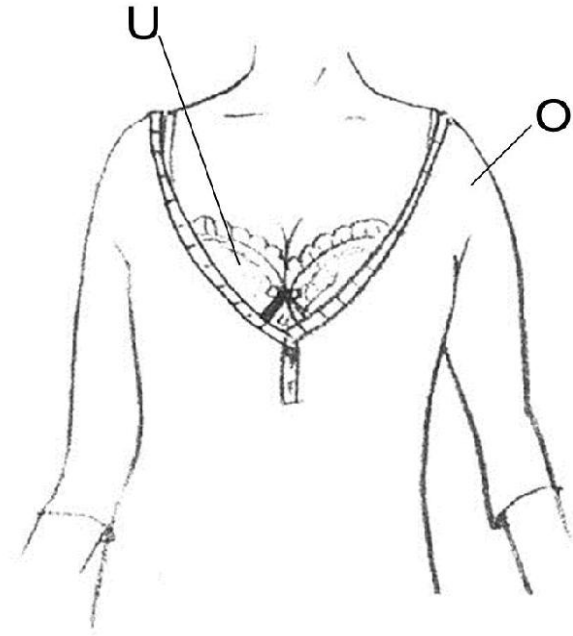
(A)



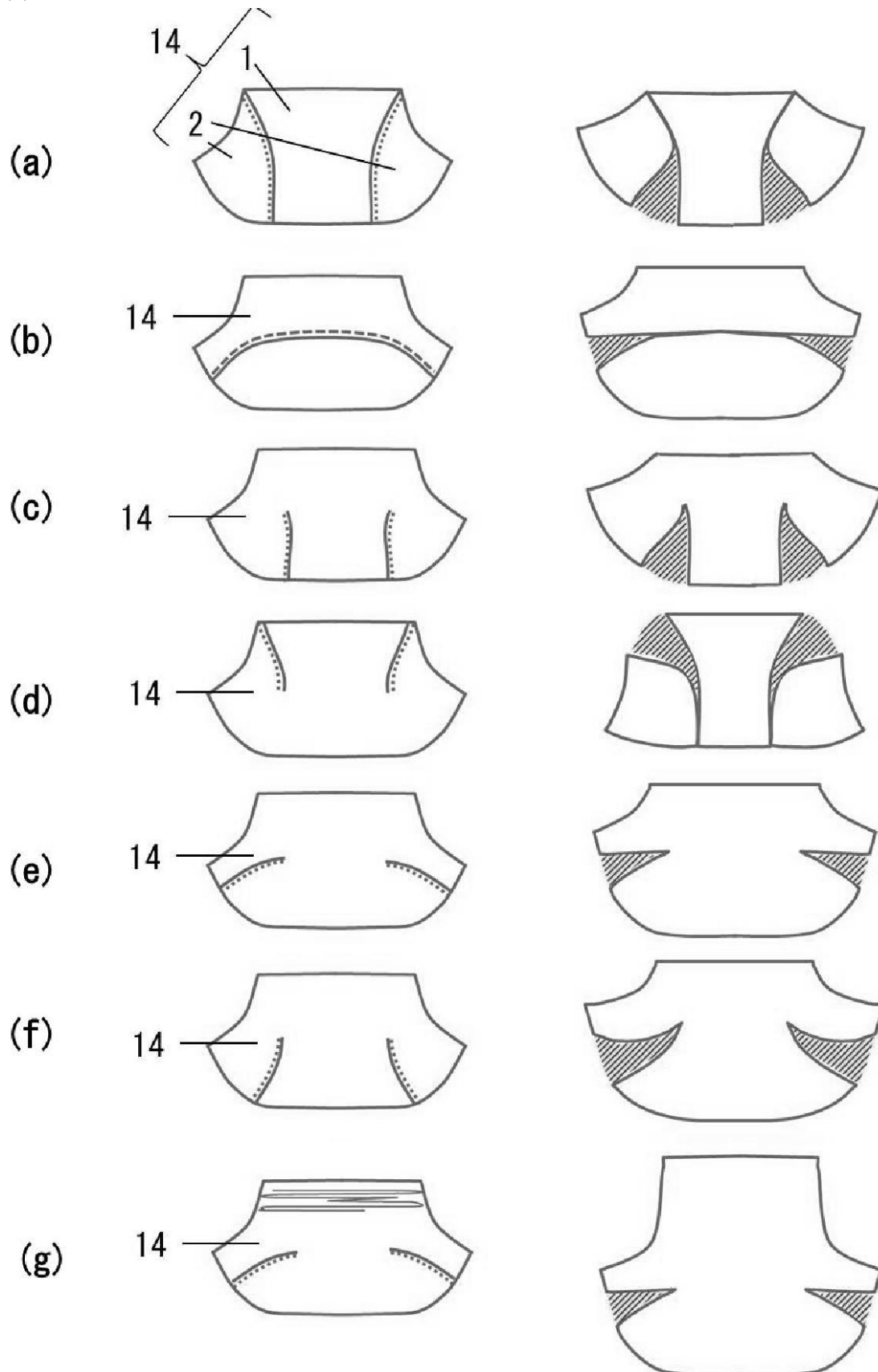
(B)



【図 8】



【図 9】



【手続補正書】

【提出日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前当て布を備える胸当て部と、

前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備えるストラップ部と、

前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備える肩紐係止部、からなる胸当てカバーであって、

前記前当て布は伸縮性の生地からなり、

前記肩紐係止部の肩紐用係止穴は、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、

前記肩紐係止部の肩紐用係止具はフック形状であり、

前記フック形状の肩紐用係止具は、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有することを特徴とする胸当てカバー。

【請求項 2】

前記前当て布の少なくとも一部に平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することを特徴とする請求項 1 に記載の胸当てカバー。

【請求項 3】

前記前当て布の形状が略六角形状であり、隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着されたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の胸当てカバー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 に係る発明は、前当て布を備える胸当て部と、前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備えるストラップ部と、前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備える肩紐係止部、からなる胸当てカバーであって、前記前当て布は伸縮性の生地からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止穴は、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止具はフック形状であり、前記フック形状の肩紐用係止具は、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有することを特徴とする胸当てカバーに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 1 に係る発明によれば、胸当てカバーは前当て布を備える胸当て部を有することで、ブラジャー等の女性用下着を隠すことができる。

また、ストラップ部を有することで胸当てカバーを体に被装させることができる。前記ストラップ部は、左右いずれか一方の前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと、該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と、該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと、該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とから構成される。

この構成により、ストラップ用係止具をストラップ用係止穴に係止し、左右の前当て布の脇側端部を背中を介してつなぐことでブラジャー等の女性用下着への胸当て部の密着性を向上させることができる。また、アジャスターでストラップの長さを調節することにより、胸当て部の女性用下着への密着性を調節することができ、着用者の体形や好みに合わせることにもできる。

さらに、肩紐係止部を有することで胸当てカバーをブラジャー等の女性用下着の肩紐に係止させることができる。前記肩紐係止部は、前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とから構成される。

この構成により、前記肩紐に外側から前記係止紐を巻き付け、肩紐用係止具を肩紐用係止穴に係止することができ、これにより胸当てカバーを装着することができる。

また、前記前当て布が伸縮性の生地からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止穴が、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止具がフック形状であり、前記フック形状の肩紐用係止具が、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有する。

この構成により、伸縮性生地からなる胸当て部を伸張させた状態で肩紐に係止紐を外側から巻き付け、肩紐用係止穴に肩紐用係止具を引っ掛けて係止すると、胸当て部が伸張した状態から元の状態に戻るため、この時に肩紐用係止具が肩紐用係止穴内で脇側へ横にスライドする。これにより、肩紐に巻き付く係止紐の長さが短くなるため、胸当てカバーを肩紐の太さに合わせてしっかり係止することができる。したがって、肩紐用係止部がずり落ちることのない、女性用下着への密着性の高い胸当てカバーとすることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図 2 に示す如く、肩紐係止部 (13) は中央布 (1) の左右の上縁端部に一対設けられ、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴 (8) と肩紐用係止穴 (8) から脇側に延びる係止紐 (7) と係止紐 (7) の先端に設けられた肩紐用係止具 (9) とから構成される。

肩紐係止部 (13) は、中央布 (1) の上縁端部に縫着されている。2 つの肩紐用係止穴 (8) は、中央布 (1) と、中央布 (1) の肌側面に 3 か所で縦方向に縫着された係止紐 (7) との間を指す。

肩紐用係止具 (9) は、脇側に伸びる係止紐 (7) の先端に取り付けられたフック形状の係止具であり、肩紐用係止穴 (8) の開口方向に対して平行に延びる係止部 (15) を有している。胸当てカバーを取り付けるカップ部を有する女性用下着の肩紐に係止紐 (7) を外側から巻きつけ、複数の肩紐用係止穴 (8) のいずれかに肩紐用係止具 (9) を引っ掛けて係止することで、肩紐に本発明に係る胸当てカバーに係止することができる (図 6 参照)。

肩紐用係止穴 (8) の数は図 2 に図示の如く 2 つであっても良く、3 つ以上であっても良い。また、肩紐用係止穴 (8) は図 2 に図示の如く中央布 (1) と係止紐 (7) の間で

あっても良く、輪状部材を中央布に取り付けても良い。肩紐用係止具（９）は、肩紐用係止穴（８）に係止可能な部材であれば、形状や素材等は特に限定されない。

本発明に係る胸当てカバーは、係止紐（７）、肩紐用係止穴（８）、肩紐用係止具（９）を備えることで女性用下着の肩紐に係止され、肩紐用係止穴（８）が複数あることで、肩紐の太さに合わせてしっかり係止することができる。このことにより、本発明に係る胸当てカバーは様々な肩紐の太さを持つ女性用下着に係止することが可能となる。

また、中央布（１）の横幅は左右の肩紐間の距離よりも短いことが好ましい。中央布（１）の横幅が左右の肩紐間の距離よりも短ければ、肩紐に胸当てカバーに係止する際、伸縮性生地からなる中央布（１）は伸張した状態になるため、中央布（１）と女性用下着のカップ部との間に隙間が生じることなく胸当てカバーのカップ部への密着性が向上する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

- １ 中央布
- ２ 脇布
- ３ ストラップ用係止具
- ４ アジャスター
- ５ ストラップ
- ６ ストラップ用係止穴
- ７ 係止紐
- ８ 肩紐用係止穴
- ９ 肩紐用係止具
- １０ ギャザー
- １１ 胸当て部
- １２ ストラップ部
- １３ 肩紐係止部
- １４ 前当て布
- １５ 係止部

【手続補正６】

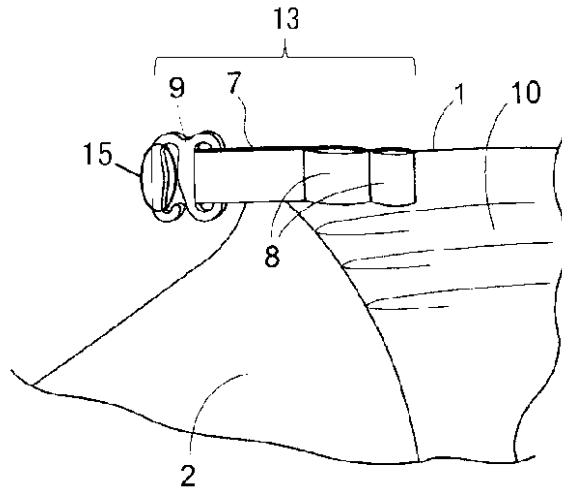
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成26年4月25日(2014.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前当て布を備える胸当て部と、

前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備えるストラップ部と、

前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備える肩紐係止部、からなる胸当てカバーであって、

前記前当て布は伸縮性の生地からなり、

前記前当て布は女性用下着のカップ部を覆う中央布及び前記中央布に隣接して脇側に配された左右一対の脇布からなるとともに前記中央布と前記脇布は縫着されて立体化され、

前記前当て布は略六角形状とされ、前記前当て布の隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着され、

前記肩紐係止部の肩紐用係止穴は、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、

前記肩紐係止部の肩紐用係止具はフック形状であり、

前記フック形状の肩紐用係止具は、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有することを特徴とする胸当てカバー。

【請求項 2】

前記前当て布の少なくとも一部に平面の布を縫い縮めて立体化する装飾縫いを使用することを特徴とする請求項 1 に記載の胸当てカバー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に係る発明は、前当て布を備える胸当て部と、前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備えるストラップ部と、前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備える肩紐係止部、からなる胸当てカバーであって、前記前当て布は伸縮性の生地からなり、前記前当て布は女性用下着のカップ部を覆う中央布及び前記中央布に隣接して脇側に配された左右一対の脇布からなるとともに前記中央布と前記脇布は縫着されて立体化され、前記前当て布は略六角形状とされ、前記前当て布の隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着され、

前記肩紐係止部の肩紐用係止穴は、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止具はフック形状であり、前記フック形状の肩紐用係止具は、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有することを特徴とする胸当てカバーに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1に係る発明によれば、胸当てカバーは前当て布を備える胸当て部を有することで、ブラジャー等の女性用下着を隠すことができる。

また、ストラップ部を有することで胸当てカバーを体に被装させることができる。前記ストラップ部は、左右いずれか一方の前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと、該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と、該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと、該ストラップ用係止具を係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とから構成される。

この構成により、ストラップ用係止具をストラップ用係止穴に係止し、左右の前当て布の脇側端部を背中を介してつなぐことでブラジャー等の女性用下着への胸当て部の密着性を向上させることができる。また、アジャスターでストラップの長さを調節することにより、胸当て部の女性用下着への密着性を調節することができ、着用者の体形や好みに合わせることにもできる。

さらに、肩紐係止部を有することで胸当てカバーをブラジャー等の女性用下着の肩紐に係止させることができる。前記肩紐係止部は、前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とから構成される。

この構成により、前記肩紐に外側から前記係止紐を巻き付け、肩紐用係止具を肩紐用係止穴に係止することができ、これにより胸当てカバーを装着することができる。

また、前記前当て布が伸縮性の生地からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止穴が、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止具がフック形状であり、前記フック形状の肩紐用係止具が、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有する。

この構成により、伸縮性生地からなる胸当て部を伸張させた状態で肩紐に係止紐を外側から巻き付け、肩紐用係止穴に肩紐用係止具を引っ掛けて係止すると、胸当て部が伸張した状態から元の状態に戻るため、この時に肩紐用係止具が肩紐用係止穴内で脇側へ横にスライドする。これにより、肩紐に係止紐の長さが短くなるため、胸当てカバーを肩紐の太さに合わせてしっかり係止することができる。したがって、肩紐用係止部がずり落ちることのない、女性用下着への密着性の高い胸当てカバーとすることができる。

さらに、前記前当て布は女性用下着のカップ部を覆う中央布及び前記中央布に隣接して脇側に配された左右一対の脇布からなるとともに前記中央布と前記脇布は縫着されて立体化されることで、女性用下着のカップ部の立体的な形状に合わせて胸当てカバーを密着させることができる。

また、前記前当て布が略六角形状にされ、前記前当て布の隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着されたことで一本のストラップで胸当てカバーの上縁部と下縁部を同時に背中側へ引っ張ることができ、背中を生地等で覆うことなくブラジャー等の女性用下着との密着性を高めることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】要約書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【要約】

【要約】

【課題】 女性用下着のカップ部への密着性が高く、上半身の動きに追従して胸元を確実に隠すことが出来る胸当てカバーを提供すること。

【解決手段】 前当て布を備える胸当て部と、前記前当て布の脇側端部に一端が取り付けられたストラップと該ストラップの他端に取り付けられたストラップ用係止具と該ストラップの該一端と該ストラップ用係止具との間に設けられた該ストラップの長さを調節するためのアジャスターと該ストラップ用係止具に係止するためにもう一方の前記前当て布の脇側端部に設けられたストラップ用係止穴とを備えるストラップ部と、前記前当て布の上縁部の左右端部に一対設けられ、肩紐用係止穴と前記肩紐用係止穴から脇側に延びる係止紐と該係止紐の先端に設けられた肩紐用係止具とを備える肩紐係止部、からなる胸当てカバーであって、前記前当て布は伸縮性の生地からなり、前記前当て布は女性用下着のカップ部を覆う中央布及び前記中央布に隣接して脇側に配された左右一対の脇布からなるとともに前記中央布と前記脇布は縫着されて立体化され、前記前当て布は略六角形状とされ、前記前当て布の隣り合う胸方向上部の二つの頂点に夫々前記肩紐係止部の一端が縫着され、前記頂点の脇方向のいずれかの隣りの一つの頂点に前記ストラップの一端が縫着され、前記肩紐係止部の肩紐用係止穴は、それぞれ縦方向に開口するとともに横方向に隣接するように段階的に形成された複数の肩紐用係止穴からなり、前記肩紐係止部の肩紐用係止具はフック形状であり、前記フック形状の肩紐用係止具は、前記肩紐用係止穴の開口方向に対して平行に延びる係止部を有することを特徴とする胸当てカバーとする。

【選択図】図 1